

一般社団法人 K A I

2020 年度（第 2 期）定時社員総会

自 2020 年 8 月 1 日

至 2021 年 7 月 31 日

第 2 号議案

2021 年度（第 3 期）事業計画案

収支予算案

自 2021 年 8 月 1 日

至 2022 年 7 月 31 日



【 概 要 】

2021 年度も新型コロナウイルス感染症の影響が残りそうな状況なので、オンライン、Web セミナーでの活動が中心となります。

前期は英文解釈のレベルアップを進めてきましたが、今期の最初に行う「高難度！英文解釈 #2」で締めくくり、高校レベルの英文法、長文解釈を中心とした Top Speed English Stage4 の制作がスタートする予定です。

そして今期は、いよいよ英作文（英語での発信）が中心的なテーマになります。

まずは 4 月に全会員を対象に初級セミナーを無料で行い、それをビデオ講座にして正・TSE 会員がマイページで無料でいつでも視聴できるようにします。

その後、数回にわたり英作文講座を企画し、講座受講生の発信力のレベルアップを図ります。

KAI は英単語習得を大きなテーマとしています。昨年開始した快単検定では 2201 語を完全にマスターした合格者が 2 名出ました。快単検定は継続し、さらなるレベルアップを目指します。年間 3 回～4 回の検定を行います。できる会員の「やる気」を引き出し、参加者を増加させ会員数の増加につなげていきます。

単語学習については 2022 年 2 月完成を目指し、快単 2201 の派生語集「快単プラス」の制作に着手しています。これにより英検準 1 級に必要な 5,000 語レベル習得が身近なものになります。

そして現在配信中の New 今日の 3 語で 3,000 語以上を完成し 8,000 語習得をもって英検 1 級レベル、Top Speed English の完成となります。この配信を続け、今期末で New 今日の 3 語は半分に到達します。配信が 1,000 語を超えたら「快単 Vol.3」の制作もスタートする予定です。

今期の方針も前期に引き続き、むやみに会員の増加を目指すのではなく、本気で英語レベルアップを目指す人を会員として迎え入れ、レベルの高い英語学習コミュニティになるように活動していきます。

記

1. 会 員

今期の活動としては引き続き TSE 会員を増やすことを目標にします。

前期会員 250 人以上を目指しましたが、94 名の増加に留まりました。今期は無料から有料に更新する予定会員 100 名いますので、その 6 割以上の更新を目指し 60 名を増加、メルマガ会員から TSE 会員に移行する会員、一般から新規に入会する会員を 20 名、合計 80 名の増加を目指します。退会する人もいますので期末の TSE 会員数 150 を目指します。正会員 759,000 円、TSE 会員 652,200 円で合計 1,411,200 円の受け取り会費収入を予定します。

2. 会員に提供する無料学習サービス

第 2 期で行っている正会員と TSE 会員が無料で利用できる学習サービスはすべて継続します。

[1] Eメールでの情報配信

- 「今日の 3 語」 快単 2201 語収録済み
- 「NEW 今日の 3 語」 英検 1 級向け 3300 語、収録中
- 「落合浩一の週刊メルマガ」 毎週月曜日

[2] 会員マイページ

次の学習サービスを追加します。

- 講座の録画映像、PDF 資料の提供「やさしい英作文」

[3] Eラーニング

- 週 1 回コンテンツの追加

[4] 無料セミナー

- 学習支援 Web セミナー 年 10 回

8/1（日）、9/19（日）、10/23（土）、11/28（日）、12/25（土）、2/6（日）、3/19（土）、
5/15（日）、6/18（土）、7/17（日） すべて午前 10：30～より 60 分

- 特別講座 2 回

・ 1 月、4 月に「やさしい英作文」他各 1 回

- 快単検定 2 級 3 回～4 回

3. 有料講座

- 10 月スタート 全 8 講「高難度！英文解釈演習講座 #2」

- 1 月以降 英作文講座 2 回（1 回 4 講～8 講）

前期の有料講座は英文を正しく解釈できるようになることでした。その完成セミナーが 10 月にスタートします。そして、いよいよ KAI の目的のひとつである「日本人が英語で世界に向けて発信できる英語力を習得する。」を本格的に指導する講座が開始されます。

この 3 回の講座の受講料収入で 1,150,000 円を予定します。

4. 手数料収入

- 青沼英語塾の業務定型による管理業務受託費 2,000,000 円
- 筑波書林との業務提携による販売手数料収入 290,500 円

5. 費用

費用については前期とほぼ同じ内容で計画としています。

収 支 予 算 書

令和 3 年 8 月 1 日から 令和 4 年 7 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	(1,411,200)	(1,556,050)	(144,850)	
正会員受取会費	759,000	714,000	45,000	
T S E 会員会費	652,200	842,050	189,850	
事業収益	(3,440,500)	(5,880,500)	(2,440,000)	
受講料収益	1,150,000	2,380,500	1,230,500	
手数料収益	2,290,500	3,500,000	1,209,500	
受取寄付金	(0)	(1,000,000)	(1,000,000)	
受取寄付金		1,000,000	1,000,000	
経常収益計	4,851,700	8,436,550	3,584,850	
(2) 経常費用				
事業費用				
事業経費	(4,439,246)	(7,530,000)	(3,090,754)	
旅費交通費	120,000	100,000	20,000	
通信運搬費		30,000	30,000	
印刷製本費		500,000	500,000	
広報費	611,400	1,000,000	388,600	
業務委託費	3,024,000	4,500,000	1,476,000	
諸謝金		1,050,000	1,050,000	
支払手数料	683,846	350,000	333,846	
事業費計	4,439,246	7,530,000	3,090,754	
管理費				
役員報酬		483,000	483,000	
会議費	144,000	150,000	6,000	
消耗品費		20,000	20,000	
印刷製本費		30,000	30,000	
租税公課		30,000	30,000	
雑費		50,000	50,000	
支払手数料	88,000		88,000	
管理費計	232,000	763,000	531,000	
経常費用計	4,671,246	8,293,000	3,621,754	
評価損益等調整前当期経常増減額	180,454	143,550	36,904	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	180,454	143,550	36,904	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	180,454	143,550	36,904	
税引前当期一般正味財産増減額	180,454	143,550	36,904	
法人税、住民税及び事業税	100,000	120,000	20,000	
当期一般正味財産増減額	80,454	23,550	56,904	
一般正味財産期首残高	48,384	49,130	97,514	
一般正味財産期末残高	32,070	72,680	40,610	
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	32,070	72,680	40,610	